第9地区

池袋３丁目（3、11、12、15-18）
要町 1-2 丁目
高松 1-3 丁目
千川 1-2 丁目

第11地区

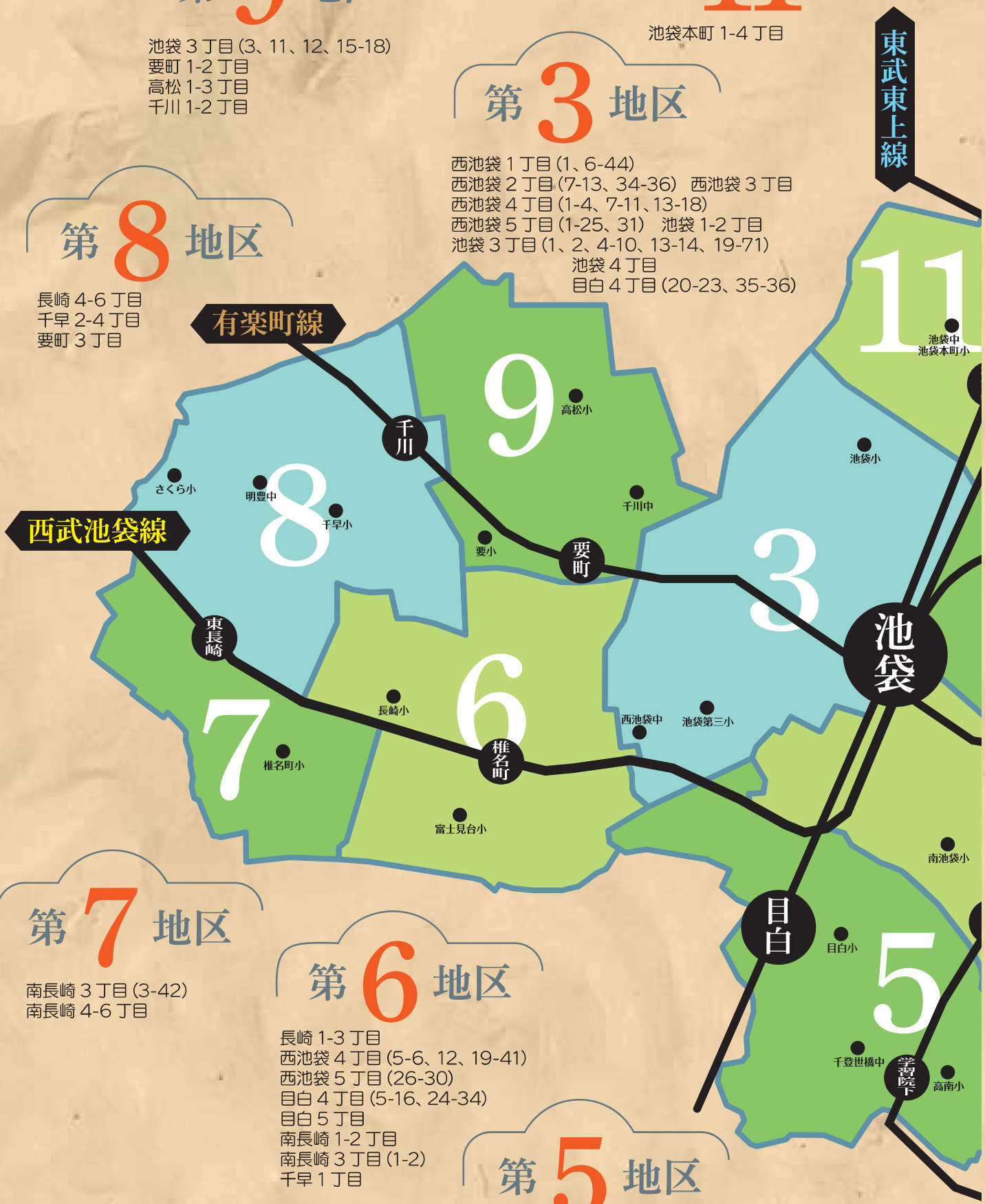
池袋本町 1-4 丁目

第3地区

西池袋１丁目（1、6-44）
西池袋２丁目（7-13、34-36）　西池袋３丁目
西池袋４丁目（1-4、7-11、13-18）
西池袋５丁目（1-25、31）　池袋 1-2 丁目
池袋３丁目（1、2、4-10、13-14、19-71）
池袋４丁目
目白４丁目（20-23、35-36）

第8地区

長崎 4-6 丁目
千早 2-4 丁目
要町３丁目



第7地区

南長崎３丁目（3-42）
南長崎 4-6 丁目

第6地区

長崎 1-3 丁目
西池袋４丁目（5-6、12、19-41）
西池袋５丁目（26-30）
目白４丁目（5-16、24-34）
目白５丁目
南長崎 1-2 丁目
南長崎３丁目（1-2）
千早１丁目

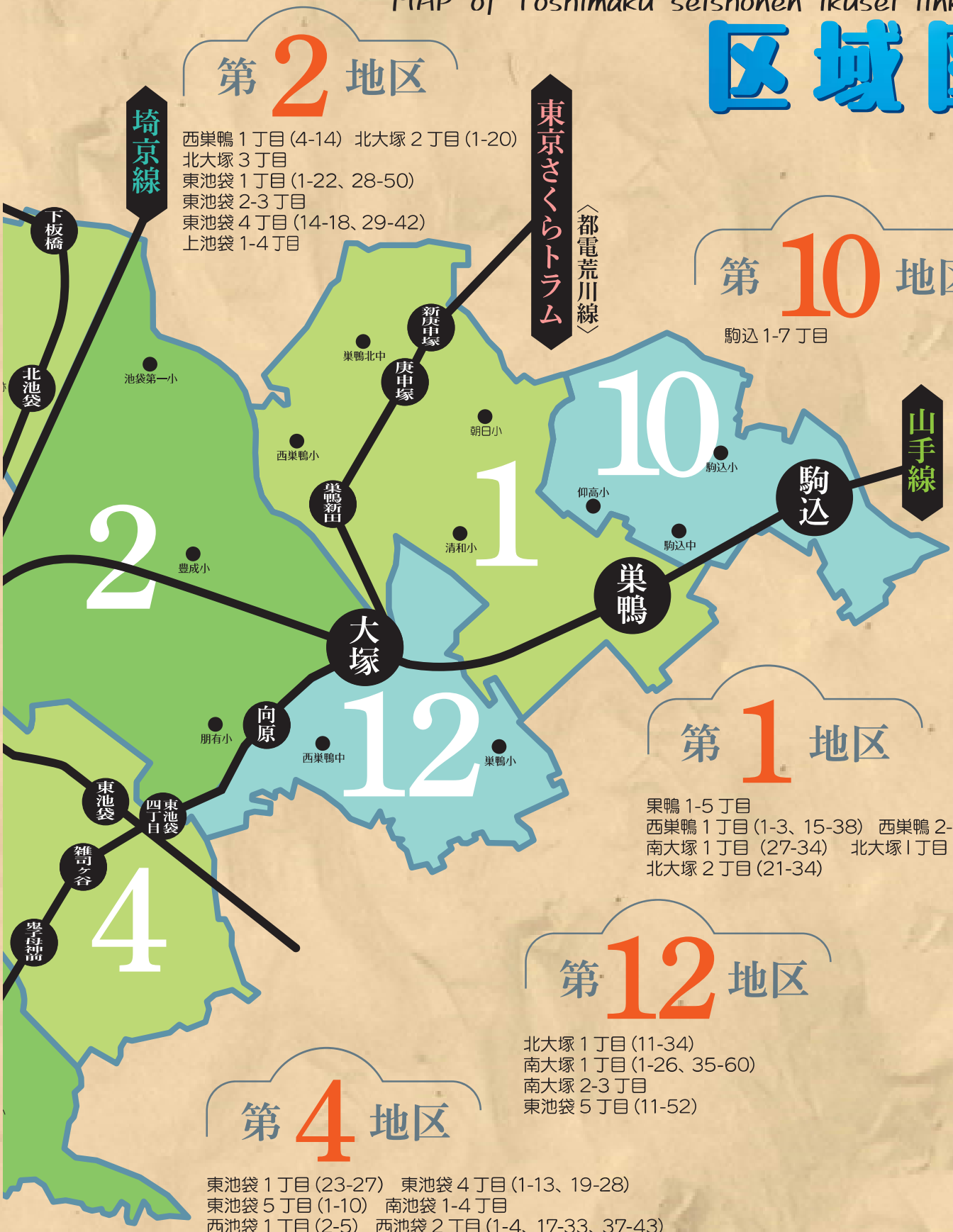
第5地区

西池袋２丁目（5-6、14-16）　雑司が谷２丁目（1-7）
雑司が谷３丁目（1-10）高田 1-3 丁目　目白 1-3 丁目
目白４丁目（I-4、17-19）

豊島区青少年育成委員会

MAP of Toshimaku seishōnen ikusei iinkai

区域図



第2地区

西巣鴨１丁目（4-14）　北大塚２丁目（1-20）
北大塚３丁目
東池袋１丁目（1-22、28-50）
東池袋 2-3 丁目
東池袋４丁目（14-18、29-42）
上池袋 1-4 丁目

第10地区

駒込 1-7 丁目

第1地区

巣鴨 1-5 丁目
西巣鴨１丁目（1-3、15-38）　西巣鴨 2-4 丁目
南大塚１丁目（27-34）　北大塚Ｉ丁目（1-10）
北大塚２丁目（21-34）

第12地区

北大塚１丁目（11-34）
南大塚１丁目（1-26、35-60）
南大塚 2-3 丁目
東池袋５丁目（11-52）

第4地区

東池袋１丁目（23-27）　東池袋４丁目（1-13、19-28）
東池袋５丁目（1-10）　南池袋 1-4 丁目
西池袋１丁目（2-5）　西池袋２丁目（1-4、17-33、37-43）
雑司が谷１丁目　雑司が谷２丁目（8-28）
雑司が谷３丁目（11-23）

第1地区青少年育成委員会

Anniversary publication 40th

第１地区活動紹介

第１地区は、文京区・北区と隣接する豊島区の北部地域に位置します。地域内には 17 の町会と、大正大学をはじめ、私立中学校・高校２校、都立高校１校、都立特別支援学校１校、区立中学校１校、区立小学校４校、そして子どもスキップや区民ひろばがあります。

また「江戸六地蔵尊」眞性寺、「とげぬき地蔵尊」高岩寺、巣鴨庚申堂「猿田彦大神」、「おばあちゃんの原宿」として有名な商店街があるなど、歴史と文化の誇り高い土地柄です。

私たちの合言葉は『子どもたちに笑顔と思い出つくり』。地域の子どもたちに、様々な体験の機会を提供できるよう、安全・安心を図りながら、活動を行っております。

主な委員会行事としては、「社会を明るくする運動」の一環として、地域内の仰高・清和・西巣鴨・朝日小学校や巣鴨北中学校の子どもたちによる「ポスター展」、地域や PTA の方々のご協力を得て開催している「子ども広場」などがあります。「子ども広場」は、以前は８月に開催していましたが、猛暑により、2024 年から 11 月に変更しました。

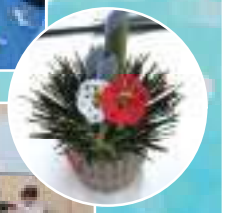
また、環境・地域部では「アルミ缶コンロでクッキング」「ウォークラリー」「水引体験教室」、スポーツ・レクリエーション部では「東京タワー外階段ウォーク」「トランポリン体験」「東京ドームツアー」などを開催し、多くの子どもたちや保護者の方々にご参加いただきました。

今後も、地域の皆さんのご協力をいただきながら、明るく楽しく、活動を進めてまいります。









Youth Development Committee

Anniversary publication 40th

第2地区青少年育成委員会

春・夏・秋・冬 イベント満載

第２地区は、JR 池袋駅東口から大塚駅及び新大塚駅から北池袋駅までの広範囲な繁華街と住宅街の中にあります。地区内には 朋有・豊成・池袋第一の３つの小学校がありますが、中学校は地区内になく周囲の３中学校に通う地域です。地区内には 18 町会があり、第２地区は各町会からの推薦者および地区内の朋有・豊成・池袋第一の３つの小学校、池袋・巣鴨北・西巣鴨の３つの中学校のＰＴＡからの推薦者、民生・児童委員、保護司会など、地域団体からの委員で構成されています。

委員会活動は、春は５月または６月の「育成・潮干狩り」に始まり、７月は「社会を明るくする運動」の強化期間活動として地区内の３か所のスキップと「区民ひろば豊成」に七夕飾りの笹竹と短冊を配り、子どもたちの七夕飾りつくりを支援しています。また６月～７月の間は地区内の３小学校で「クリーン作戦」を実施し、それぞれの地域の清掃活動や地元警察署からの青少年の防犯についてお話を伺い、身近な地域への理解を深める活動をしています。

夏には７月末～８月に行われる「サンシャインシティ納涼盆踊り大会」に実行委員団体として参加し、児童向けの無料ゲームコーナーの運営や大会本部運営の支援を行っています。「納涼サンシャインシティ盆踊り大会」は地域の町会や商店街、サンシャインシティがともに開催し、サンシャイン 60 ビルを舞台とする「盆踊り大会」で毎年 5,000 人の来場者を迎え、無料ゲームコーナーでは約 600～700 人の子供連れのお客さんが楽しんでくれる地域の一大イベントになっています。

秋は例年子どもゲーム大会や日帰り行楽イベントを実施してきましたが、直近のコロナウィルス感染症対策のため５年間ほど休止していました。40 周年を迎える今年から新たな企画のもとに「新イベント」を開始する予定です。

冬には年が明けた２月または３月初めの土・日曜日（一泊二日）に貸し切りバスによるスキー体験ツアー「スキー・チャレンジ」を長野県菅平高原スキー場を舞台に開催しています。スキーが初めての人が「雪」に親しみ冬の楽しさに触れられるように、ちょっと経験のある人は、もっと楽しくなれるように、育成委員がお手伝いしています。

このように第二地区の活動は一年間「春・夏・秋・冬」切れ目なく続いています。そして各イベントの開催状況は広報誌「だいに」を通じて皆様にお伝えしております。第二地区のイベントは子どもだけでなく「親子での参加」を勧めています。親子参加での体験の共有、親子の絆を大切にしています。これからも青少年育成活動を地域や学校・ＰＴＡ、保護者の皆様と一緒に盛り上げていければと願っております。





Youth Development Committee

第3地区青少年育成委員会

Anniversary publication 40th

第３地区の紹介

第３地区は池袋駅西口に位置します。2019年には、西口公園が屋外劇場「グローバルリング」として生まれ変わり、東武百貨店、ルミネ池袋、東京芸術劇場などにも多くの人が訪れています。少し足をのばすと立教大学のキャンバスが広がり、隣接する旧江戸川乱歩の土蔵は豊島区有形文化財に指定されています。このように文化と芸術の薫る情報発信地として注目されています。
地区内には、池袋第三小学校、池袋小学校、西池袋中学校の３つの小中学校があり、学校をはじめ子どもスキップや区民ひろば、池袋警察署とともに地域の15町会と力を合わせ、青少年の健全育成のために活動しています。

主な活動として、「ドッジボール大会」「ミニ縁日と花火大会」「夏休み子ども会」「農業体験」「連合大運動会」「ふれあいスポーツ」などがあります。
夏の恒例行事として人気の「ミニ縁日と花火大会」では、地域の子どもたちから大人まで大勢集まり、ミニ縁日では、輪投げ・スーパーボールすくい・ストラックアウト３種類のゲームを楽しみ、日が落ちてからは手持ち花火、そして打ち上げ花火を楽しみます。最近では花火ができる場所が少なくなったため、子どもたちがこの行事を楽しみにしてくれています。
また、池袋警察署との共催で、小学生を対象とした「農業体験」では、９月と12月の２回のわたり大根の種まきと収穫を埼玉県熊谷市の農園で行っています。大根の種をまき、収穫時には採れたての大根で作った豚汁をいただきます。子どもたちにとっては自然の中で土に触れ、豊かな恵みを感じることはとても貴重な体験になると思います。

これからも一人でも多くの子どもたちが行事に参加できるように、地域の方々と連携をとりながら、青少年育成活動を続けていきたいと思います。





Youth Development Committee

Anniversary publication 40th

つながりが広がる地域に

第4地区青少年育成委員会

第4地区は池袋駅、東池袋駅、雑司が谷駅の一帯にあり、その真ん中に都電荒川線が通ります。池袋の旧雑司が谷と呼ばれている歴史ある地域で、区内でも緑豊かで季節の移り変わりをより多く感じられる街です。
13町会で構成され、地区内には東京音楽大学、南池袋小学校、子どもスキップ南池袋、区民ひろば南池袋のほか、雑司ヶ谷霊園、雑司が谷旧宣教師館、鬼子母神堂等の貴重な施設が点在しています。

鬼子母神堂で毎年10月に行われる『御会式』は、江戸時代から引き継がれてきた文化遺産であり、特に「纏ふり」は地元の子どもに継承されています。また、自然遺産として参道のケヤキ並木や境内の樹齢600年超の大銀杏が守り継がれ、この歴史や自然を未来に向けて守る活動「雑司が谷がやがや」プロジェクトは日本ユネスコ協会連盟から未来遺産として認定されました。「雑司が谷七福神」めぐりに多くの人々が訪れ散策を楽しんでいます。
最近は江戸東京野菜「雑司が谷ナス」を育てる輪も広がっています。

●地域の絆　「楽しい運動会」

毎年11月3日に南池袋小学校校庭で開催しています。第4地区の委員だけでなく、南池袋小学校、千登世橋中学校、生徒児童、ＰＴＡ、おじさんの会、大学生ボランティア、地域の方々など運営スタッフ100人の協力と300人もの来場者がある大運動会です。運動会は2024(令和6)年で50周年を迎えました。記念のイベントもあり、子どもたちの笑顔と歓声が響き、紅白に分かれて10種類の競技で盛り上がりました。毎年楽しい運動会が続けられるように頑張っていきたいと思います。

また、「**社会を明るくする運動**」の一環で夏休みに子どもたちが楽しめるイベントを開催します。「**大田市場と大森海苔のふるさと館**」の時は総勢41名が貸し切りバスで早朝6時に南池袋を出発し、世界最大規模の青果市場「大田市場」のせりを見学し、市場のしくみや働く人たちの様子を学びました。その後、海苔づくりの伝統文化を伝える施設にも立ち寄り、楽しく元気いっぱい充実した時間を過ごしました。

他にも、「**地域の清掃活動**」を晩秋に、「**地域パトロール**」を毎週水曜日夕方にしています。子どもたちに地元を愛してもらい、そしてその子どもたちが大人になってもこの街を愛し、つながり続ける場所になるように健全育成と見守り、地域の絆を深める活動を続けています。





第5地区青少年育成委員会

40th Anniversary publication

「川越散策とさつま芋掘り」&「ボウリング大会」

第５地区は、豊島区の南西に位置し新宿区と文京区に隣接した地域です。東西に目白通り、南北に明治通りが走り、目白駅、学習院大学、川村学園のある目白地区と、神田川流域の高田地区と、鬼子母神の隣の雑司ヶ谷地区、また目白小学校、高南小学校、千登世橋中学校３校と子どもスキップ目白・高南や区民ひろば目白・高南で構成されています。

我が地区で長年続けている「川越散策とさつま芋掘り」の行事はとても人気です。先ずは川越蔵通りの街「時の鐘」「おかし横丁」巡り、神社の参拝等思い思いに好きな所へ行って時間一杯楽しみます。話題に上がったり、気になった食べ物を買い求めて、それを口にしながらウィンドウショッピングする人、調べておいた店へ直行し、そこでお目当ての料理を昼食として先ずは腹ごしらえしてから、ゆっくり廻る人など様々です。

その後、一駅戻った南大塚の荒幡農園へ向かい待ちに待ったさつま芋を掘ります。泥だらけになって大はしゃぎ、掘り進むと同じ弦に沢山の芋が付いているのに気が付いてビックリ。最後には袋が破れんばかりの大量の収穫に大満足。このさつまいも掘りは普段土とふれる事の少ない子どもたちにとって新鮮な体験となっているようです。

もうひとつの人気イベント「ボウリング大会」も子どもたちがとても楽しみにしており年々参加者が増えています。子どもたちからは「同じレーンになった他校の子と友達になれて嬉しかった。」や、保護者からは「なかなか連れて行ってやれなかったので、初めてのボウリングをする機会を作って頂き良かったです。」等感謝の声をたくさん頂いています。

育成委員会では上記の他、住んでいる地域を知る為の「地域を歩こう会」や、神田川流域を含む為に「本所防災館」で水害体験をしたり「鉄道博物館」で運転シュミレーションをしたり等、体験的イベントを計画・実施してまいりました。
これからも委員の皆で知恵を出し合い、多くの子どもたちが健全に育っていくお手伝いとして育成活動を続けていく所存です。





Youth Development Committee

連携から生まれる地域力

第６地区は、西武池袋線一つ目の駅「椎名町」の北側と南側に位置し、長崎神社を拠点として９町会の青少年を対象に活動しています。

地区内にある長崎小学校、富士見台小学校、西池袋中学校、城西大学附属城西中学・高等学校、中高生センタージャンプ長崎、子どもスキップ長崎と子どもスキップ富士見台、区民ひろば長崎と区民ひろば富士見台などのご協力を原動力にし、年間事業を【主催事業】と【地域連携事業】とに区別して“子ども主体の育成活動”が実践されています。

地域清掃【主催事業】

「犯罪のない明るいまちづくり」「誰にでもできる小さなボランティア」をキャッチフレーズに、長崎神社境内、長崎小学校方面、富士見台小学校方面などに分かれて“まちをきれいに”する活動です。清掃後は神社境内にブルーシートを敷き、非常食のアルファ化米をその年によって豚汁やカレーにしながら試食会をしています。また、この試食の時間を利用した防犯・防災・交通安全などのミニ講話が人気で、町会の防災訓練への参加を促すことにもつながっています。豊島区防災危機管理課、警視庁目白警察署のご支援により実践できている事業です。

わくわく冒険まつり【地域連携事業】

「東京ふるさと豊島 豊島ふるさと椎名町」の思いを込めて開催される地域団体による手作りのお祭りイベントです。その大きな特徴は、大人の実行委員会とは別に子ども実行委員会を立ち上げ、共に大事な役割を担って運営されるところにあります。令和７年の第 34 回では大人・子供合わせ 1,000 人を超える参加者がゲームや飲食、紙芝居やステージショーなどを堪能していました。また、別枠で個人が参加できる「わくわく《HEROES（ヒーローズ）》」というチームを設け、毎年、OB・OG をはじめ、中高生や大学生さんたちの自主的な参加が大きな力となっています。これからも地域に愛され“わくわく”をお届けするイベントとして盛り上げてゆきたい事業です。

長崎獅子舞道行き【地域連携事業】

長崎獅子舞は、今から 300 年ほど昔の江戸時代元禄期より「流行りやまい、五穀豊穣、雨ごい、厄よけ、天下泰平などを祈る舞」として長崎神社へ奉納されてきた民族芸能です。途中何度か衰退の時期も迎えましたが、長崎獅子連のご努力により今日まで伝承され、ついに平成４年、長崎獅子舞は『豊島区無形民俗文化財』に、獅子頭や衣裳・道具類は『豊島区有形民俗文化財』に指定されました。毎年５月第二日曜日に開催している「長崎獅子舞道行き」では、地区内の小学生が中心となり、そこに地域住民の幼児や小学生も加わり「お清めの舞（ふんごみ）」を体験します。

第６地区青少年育成委員会は、長崎獅子舞の末永い伝承を願い、後継者確保に力を注ぐ保存会の運営に惜しまない協力体制で参加しています。







Anniversary publication 40th

第7地区活動紹介

第7地区青少年育成委員会

第７地区は練馬区と新宿区との区境に接し、豊島区の西南に位置する細長い地域です。西武池袋線の南側にあたる南長崎３丁目から６丁目の地域で、５つの町会があります。そのうち４町会が椎名町小学校、1町会がさくら小学校の通学区域になっています。また、明豊中学校の通学区域です。

第７地区の主な活動として、「社会を明るくする運動・地区大会」、夏の「しいの木村キャンプ」、12月の「親子餅つき大会」、そして３月には「ファミリースキー＆スノボ」があります。

社明地区大会では、椎名町小学校の児童が鼓笛隊となり、トキワ荘公園や小学校校庭で演奏を披露します。練習の成果を発揮して、見事な演奏をする子どもたちの姿に、観客の地域の方々も大きな拍手を送ります。

社明大会のもう一つの取り組みとして、「社会を明るくする運動」のポスターの展示をします。椎名町小学校４年生・さくら小学校５年生が描いたポスターを東長崎駅自由通路壁面に展示し、多くの方に見ていただきます。

また、夏休みに椎名町小学校の校舎を利用して行う「しいの木村キャンプ」では、椎名町小・さくら小の児童が１泊２日の宿泊体験をします。学校や学年が異なる子との交流を通して、子どもの自立心や協調性を養うことを目指しています。中学生がボランティアリーダーとして小学生と共に過ごし、頼もしくサポートをしてくれます。さらに、地域の高校生、大学生もボランティアとして参加し、夜のお化け大会では大いに盛り上げてくれます。

年末には、子どもスキップとの共催で、「親子餅つき大会」を椎名町小学校校庭で開催します。毎年多くの親子や地域の方が来場します。つきたてのお餅はやわらかくておいしいです。子どもたちは餅つき体験もできます。

春休みに開催する「ファミリースキー＆スノボ」は、新潟県のスキー場へ１泊で行きます。子どもたちはスキーがベテランの委員の指導によりスキーの技術を学びます。雪と自然がいっぱいの中で過ごすと、子どもたちは身も心も開放されて大喜びです。





Youth Development Committee

第８地区概要

第８地区は、練馬区と板橋区に隣接する豊島区の西部地域にあります。地区内には３つの小学校（千早小・さくら小・要小）と明豊中学校のほか７つの町会、および子どもスキップ千早、子どもスキップさくら、子どもスキップ要、区民ひろばさくら、区民ひろば要、区民ひろば千早を有する住宅地です。

主な構成員は上記４校の PTA ほか、長崎 4･5･6 丁目町会、千早 2･3･4 丁目町会、要３丁目町会および協力員となっています。

【子どもたちの笑顔をつくる第８育成主催イベント】

「わいわい防災キャンプ」で避難所体験

主に低学年向けの日帰りデイキャンプと高学年向けお泊まりキャンプの２つの内容で実施する、防災学習を兼ねた体験イベント。簡易トイレやかまどベンチの使い方を豊島区の防災課の方々を招いて実践的に学んだり、夕食用に自分たちで具材の野菜を切って、とっておきのカレーを用意します。やがて日が暮れて花火を楽しんだ後は日帰り組の解散。その後お泊まり組は、新聞紙やアルミホイルを巻いて夜食用の焼き芋を仕込んだり、支給されたダンボールを自由に組み合わせて屋内施設で寝床づくり。毎回、子どもたちの個性あふれる造作物が披露されます。翌日も被災体験を兼ね、アルファ米を利用した朝食を「いただきます！」。その後はみんなで清掃して笑顔で解散です。

特急ラビューに乗ってイチゴ狩りとうどん打ち体験ツアー

応募多数で、毎回抽選になってしまうほど大人気のツアー。西武特急ラビューに乗り、横瀬駅まで車中を楽しみ、駅からはマイクロバスに分乗して『小松沢レジャー農園』へ Let'sGO!　まずはビニールハウス内で真っ赤に熟したイチゴの食べ放題が始まります。イチゴの種別に植えられた畝の列をあっちへ行ったりこっちに来たりしながら、甘くて美味しいイチゴを時間内に 120 個食べた強者もいました。続いてはうどん打ちの体験。地粉と塩水をボールに入れて子どもたちが交替で生地を練り、さらに足で踏んで練り込んでから、一旦寝かせます。寝かせた後は生地を麺棒で少しずつ延ばし、包丁で切っていきます。難関の切り工程では細麺、太麺と太さもバラバラ。それでも自分たちが打ったうどんの味は格別で、お昼はみんなそろって「いただきます！」。再び横瀬駅に戻り、帰路のラビューでお菓子をパクつきながら「ただいまぁ！」





第9地区青少年育成委員会

Anniversary publication 40th

第９地区活動紹介

第９地区は豊島区の北西部に位置します。板橋区との区境には千川上水名残の桜並木がある、典型的な閑静な住宅街です。地区内には、幼稚園が２園、保育園が２園、小学校が２校、中学校が１校、高等学校が１校、子どもスキップが２ヶ所、区民ひろばが２ヶ所あります。文化財として庚申塔、富士塚があり、その他にも粟島神社や彫刻公園など子どもにとって情緒豊かな生活環境に恵まれていると自負している地区です。

第９地区では、毎年 11 月の勤労感謝の日に高松小学校・高松小学校 PTA のみなさんのご協力を得て、「第９子どもまつり」を実施しています。

新型コロナウイルス感染症の流行で中止した年もあったものの、徐々に規制を緩和し、昨年度（令和６年度）から通常どおり開催できるようになりました。「ジュニア・リーダー」の子どもたちがお店の店員となり、地域のお客様と一体になって、イベントやお茶、カレーライスを楽しみます。今年度で「ジュニア・リーダー」の活動も第 45 回を数えます。

また 12 月にはもちつき大会を開催します。地域のみなさんと、要小学校の先生、要小学校 PTA のみなさんと一緒に「もちつき大会実行委員会」を作り、準備を進めます。今年度からは千川中学校生徒会のみなさんにもご協力いただき、まさに「地域をあげて」行う行事となっています。

どちらも第９地区の活動に欠かせない、目玉イベントです。





新春親子運動フェスタ、デーキャンプの今昔

第10地区青少年育成委員会

Youth Development Committee

第10地区は駒込１丁目～７丁目の６町会、近くに六義園、古川庭園に囲まれ、閑静な環境に恵まれ、古い歴史のある小さな町並です。「染井よしの桜」発祥の地として名高いです。駒込小・中学校、本郷中・高等学校、子どもスキップ駒込、区民ひろば駒込、駒込生活実習所・作業所、駒込地域文化創造館等が位置しています。

昨年から始めた運動フェスタでは、新春に相応しい和のスポーツ文化として空手・合気道、野球、バレトン等の体験学習。皆さん初めての体験でしたが分からないなりに楽しんでいました・・・それから、中学生がお客様にお茶を振る舞う茶道教室を実施致しました。中学校で茶道を研鑽を積んでいるいる生徒さんですが、大変好評で賑わいを見せていました。駒込の土壌に合わせて、桜シーズンなら更に雰囲気向上と地域の方々への桜親善大使の役割を担えること間違い無し。

第10地区では、過去10年前からのデーキャンプ歴史を見ると、コロナ禍以降中止しておりますが・・・過去の行先（舎人公園、野田公園、水海道あすなろの里他）火起こしから始め（火の係）⇒カレーライス班（野菜を切る・煮る係）

飯盒すいさん班⇒飯盒なべでご飯炊く係に分かれて活動（バーベキュウや焼きそば）を作った時もありました。

食を作る作業は食べる喜びがあるため、頑張ってやれてしまい、失敗も成功も味は格別なり！！

今年度は久しぶりに実施予定のデーキャンプ版『児童遊園でできる焼き芋大作戦』今から”わくわくどきどき”です。







第11地区青少年育成委員会

Anniversary publication 40th

つながっている

第11地区は豊島区の北部に位置し、北側は板橋区に隣接、南側は川越街道と埼京線に囲まれた扇形の地形です。その中に豊島区初の小中連携校である池袋本町小学校(昨年度10周年を迎えました)と池袋中学校があります。平成28年(2016年)2学期から新校舎での授業が始まり、9年が経ちました。池袋中学校跡地には区内で最も広いグラウンドが整備され、体育の授業はもちろん、部活動に、そして地域のスポーツクラブが利用したり、なにより被災時の避難場所としての役割を担っています。

当育成委員会の活動として、春は池袋中・池袋本町小の生徒、児童たちと地域のゴミ拾い「ゴミゼロデー」への参加、夏は消防団の協力を得て防災訓練も兼ねてのイベント「どじょうつかみ大会＆防災訓練」そして氷川神社祭禮時に子どもみこし宮入りの際の麦茶提供、秋には本町公園プレーパークをお借りして、育成委員と各町会青年会・部が一体となり、おにぎりといも煮を配布する「いも煮会」冬には池袋中・池本小のアリーナをお借りしての「スポーツ・ゲーム大会」と、多岐にわたります。

以上のように、池袋本町地区は8町会が1つになって、発災時にも協力しあい助けあっていけるよう、その1つのつながりに育成の行事が貢献できていれば、と思いつつ活動しております。





Youth Development Committee

第12地区青少年育成委員会

地域で育まれる子どもの成長に期待して

第12地区は、大塚駅を中心に13の町会・自治会の方々と連携して日々活動をしています。東部区民事務所、南大塚地域文化創造館、南大塚ホール、区民ひろば南大塚、区民ひろば朋有などの公共施設では、イベントや会議等を行い、各施設の方々のご理解とご協力を得て、児童・生徒の作品発表の場ともなっています。飾られた作品を親子が鑑賞のために来館することで相互交流にもなっています。地域には、2つの中学校と3つの小学校、3つのスキップが含まれますが、主に西巣鴨中学校、巣鴨小学校、朋有小学校の生徒、児童、各小学校のスキップに在籍する児童を中心に活動を行っています。

育成委員会には、スポーツレクリエーション部と環境部があります。常に子どもたちの多種多様な経験を増やし、地域の皆さんとの交流を通じて顔が見える交流イベントになるように毎回工夫を凝らしています。自然とのふれあいや、学び、工作、遊びを通してのスポーツ体験、音楽体験などは毎回参加者が多く集まります。さらに委員による地域の安心、安全のためのパトロールも実施しています。

近年、イベントへの参加者は、小学校の低学年が中心となる傾向があります。そこで中学生が積極的に参加できる方策として、中学生ボランティアを募ったところ、毎回10名以上の申し込みがありました。特に社会を明るくする運動では、育成委員と共にふれあいゲームコーナーで受付、参加者の誘導、ゲーム補助に協力をしてもらいました。工作コーナーでは、少人数に分かれて工作手順を小学生に教えてもらったところ、丁寧な指導が大好評でした。小学生、中学生ともに達成感があり、完成したコマを笑顔で一緒に回している光景は大変微笑ましいものでした。また、「芋ほり」などの野外活動でも小学生の班活動の補助として、荷物持ちも含めて大活躍をしてくれました。小学生にとっては、優しいお兄さん、お姉さんの姿がとても親しみやすく身近に感じられたようです。将来自分たちが中学生になった時に地域でかかわりを持つ姿を想像できた様です。今後は、更に中学生の工夫、意見も交えた活動に発展させたいと考えています。

現在、育成委員会のイベントチラシは二次元コードによる申し込みやチラシそのものを保護者の方々へデータ配信する事も行う様になりました。申し込みや、その後の連絡がスピーディーに確実に行える事が利点です。一方、12地区全体の地域の皆さんに育成イベントをお知らせするために、町会の掲示板等への掲示も従来通りお願いしています。

どの時代においても育成委員会の活動は、次世代を担う地域の児童・生徒が心豊かに成長し、彼らが「生きる力」を身につける手助けをするために行われます。青少年は、自然体験活動や人々との交流活動を通じて、様々な経験を重ね、心の豊かさを育み、将来の可能性を広げることができると信じています。また、将来は地域の一員として活躍するであろう彼らの成長をこれからも支え、見守っていきたいと思います。グローバル化による多文化共生社会を見据えて委員自身も日々アップデートしていきたいと思います。



